

# 令和2年度施政方針

2月19日に、令和2年第1回市議会定例会の冒頭、西岡真一郎市長が、令和2年度の施政方針演説を行いました。

その中で市長は、小金井市の未来と市政運営のために全力で取り組む決意を表明しました。

ここにその要旨をご紹介します。なお、全文は、企画政策課でご覧いただけるほか、市ホームページで公開しています。

☎企画政策課企画政策係(市役所本庁舎2階☎042-387-9800)



## 1 はじめに

はじめに、市政の最優先課題である可燃ごみの処理についてお礼を申し上げます。可燃ごみの処理につきましては、日野市のご理解のもと、国分寺市、小金井市の3市で

設立した浅川清流環境組合において、平成29年11月から日野市内にて新可燃ごみ処理施設の建築工事を開始し、昨年12月から試運転に伴う可燃ごみの全量搬入が開始され、本年4月から本格稼働する予定となっております。本市といたしましては、共同処理が円滑に進むよう与えられた役割の重大さを認識し、誠実に責任を果たすべく全力を尽くしてまいり所存です。新施設周辺にお住まいの皆様をはじめとした日野市民の皆様および関係者の皆様へ深く感謝を申し上げます。

また、13年間に及ぶ本市の可燃ごみの処理に係るご支援に対しまして、ご理解とご協力をいただきましてありがとうございました。すべての施設周辺にお住まいの皆様および関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。併せまして、廃棄物の最終処分場の運営について、多大なるご理解とご協力をいただいている日の出町の皆様に心より感謝を申し上げます。

続いて、市政運営についての基本的な方針および主要な事業について申し上げます。最初に、庁舎建設についてです。本市長年の課題であった市庁舎問題を解決すべく、新庁舎と(仮称)新福祉会館を合わせて整備することによ

って本市の総合サービスの提供基盤を築くことをめざし、基本設計を進めてきています。このころ、基本設計案についてパブリックコメントを実施するなど、施設概要の取りまとめに向けた最終段階を迎えております。

この庁舎と複合施設では、自治体の重要な責務の一つである災害発生時における市民の皆様の生命と財産を守るための拠点としての機能強化・充実を図るとともに、施設内外に交流の場となるスペースを整備するなど、市民の皆様

に長く愛される施設となるよう努めてまいりたいと考えています。次に、本市のごみ処理につきまして、循環型都市「ごみゼロタウン小金井」の実現に向け、私たち一人ひとりが自らのライフスタイルを見直し、3Rの取り組みをさらに推進することが重要です。食品ロス削減プロジェクト「2020運動」を引き続き推進してまいりますので、多くの

方々のご協力をお願いいたします。また、安心・安全・安定的な適正処理を推進する取り組みとして、不燃ごみ、粗大ごみおよび資源物の適正な処理体制を確立するため、現在、整備事業を進めているところでございます。

すべての市民が安全、安心で快適に暮らすことができるよう日常生活の基盤を整えるとともに、子育て環境日本一をめざした子育て・子育て・教育環境の向上や少子高齢化の

進行を見据えた高齢者福祉の充実など、誰もが自分らしく、生き生きと心豊かな生活を送ることができるよう、しっかりと取り組んでまいります。そして、持続可能な財政運営と市民サービス向上を実現していくためには、行財政改革の推進が引き続き欠かせません。これまで「行財政改革プラン」に基づき取り組みを進め、平成29年度から令和2年度末までの財政効果は約7億円、職員削減は36人の見込みとなっております。この間、福祉保健部・子ども家庭部等に14人を重点配置してまいりました。

## 2 令和2年度予算の概要と市政運営の基本政策

### 【令和2年度予算の概要】

本市の財政状況は、起債の抑制と基金の積立を積極的に行い、持続可能な財政運営の構築に努めてきた結果、平成30年度決算においても実質公債費比率、将来負担比率等は改善されてきましたが、単年度における財政構造の弾力性等を示す経常収支比率からは厳しい財政状況が明らかであり、財政規律を緩めることなく、市民から信頼される市政の実現に向けて、コンプライアンスの推進にも努めていか

なければなりません。令和2年度予算は、一般会計55億2千700万円、前年度対比2億9千800万円、0.7%の減、特別会計および公営企業会計を合わせた全会計では67億700万円、前年度対比3億516万3千円、0.5%の増となりました。

令和2年度は、「第4次基本構想・後期基本計画」の最終年度に当たります。将来のさらなる少子高齢化などを踏まえ、令和3年度から始まる10年間の新たな市政運営の指針について熟慮を重ね、市民のしあわせの増進の実現に向けて「第5次基本構想・前期基本計画」の策定に取り組んでまいります。

### ■自然・まち・暮らしが調和するまちづくり

駅周辺のまちづくりにつきましては、武蔵小金井駅南口第2地区再開発事業の施設竣工が本年5月といよいよ間近に迫り、周囲からは、はげをイメージした美しい植栽の姿も見られるようになってまいりました。6月には商業施設のグランドオープンも予定されています。駅前にふさわしいに

コースの一部となっており、競技実施等に伴う安全配慮や機運醸成など大会の成功に向けて取り組んでまいります。

ぎわいの拠点の再生に向けて、再開発等によるまちづくりの検討が進められています。東小金井駅北口の土地区画整理事業では駅前広場のパシエルターや電線地中化の工事が進んでおり、令和2年度には市民参加による駅前広場と都市計画道路の樹種選定や奉仕団体からご寄贈いただいた時計塔の設置などを予定しています。

みどりや水をはじめとするかけがえのない地域環境を確保し、本市の魅力を将来世代へ継承していくため、「環境基本計画」の改定に取り組み、環境の保全等に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図ってまいります。また、緑地の保全や緑化の推進に関する「緑の基本計画」および気候変動に伴う昨今の異常気象等によるさまざまな被害に対応する施策も盛り込んだ「地球温暖化対策地域推進計画」の改定に取り組みます。今後地球温暖化対策の一環として、環境に配慮した取り組みを進めてまいります。

まちのにぎわい創出につきましては、生活都市にふさわしい産業の育成等をめざし、「産業振興プラン」の取り組みを進めているところです。また、将来を見据えた実効性ある農業振興施策や農地の保全に寄与する取り組みを推進するため、新たな農業振興計画を策定いたします。多くの市民の皆様にご利用いただいている市民農園につきましては、令和3年4月に(仮称)

ぬくいき第2市民農園の開園を予定しており、都市農業への理解促進に努めてまいります。次に地域における安全、安心な暮らしについてです。まず、市民の生命、財産を守るために昼夜を問わず活動していただいている消防団員の方々のご家族、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。地震や風水害などによる災害から一つでも多くの命と貴重な財産を守るためには、「自助」と「共助」の2つの理念に立つ市民と「公助」の役割を果たす市とが、それぞれの責務と役割を明らかにしたうえで、連携を図っていくことが欠かせません。

また、防犯面においては、市、市民、事業者、警察等が相互の連携を深め、円滑かつ効果的な防犯協力体制づくりをめざします。一方で、コミュニティバス再編事業、無電柱化推進など市民の皆様への安全性、利便性、快適性を向上する取り組みに努めます。都市計画道路の整備につきましては、昨年10月に東京都知事あてに要望書を提出しておりますとおり、市民の皆様への十分なご理解や環境への配慮などに留意し、適切に対応してまいります。また、基本構想に即した魅力的なまちづくりや住環境等の実現に向けて、令和4年度からの新たな「都市計画マスタープラン」および「住宅マスタープラン」の策定に取り組んでまいります。住みやすい、住み続けたいまちであり続けるために、少子高齢化の到来など長期的視点を踏まえたまちづくりについて、しっかりと